

【当日出された意見等】

協議事項

・令和4年度住吉区予算（案）について

	委員名	項目	意見等の内容	回答・対応（※）
①	今西委員 中野委員	予算全体について	〔今西委員〕 ・予算全体に関して、予算の使い方（例えば、前年度に比べてどうなのか、増減の傾向）が見えない中で、これでよいという判断には至らない。令和3年度の実績を踏まえて、令和4年度予算の使い方があるのではないか。 〔中野委員〕 ・事前に資料をもらっているが、全貌が分からない状況で、意見等の書きようがない。何に重点を置くのか、重点テーマを絞って意見等を求めてほしい。	〔総務課〕 ・予算にかかる資料につきまして、説明が不足しており、申し訳ございませんでした。 ・今回お示しした資料は、令和4年度の住吉区事業のうち重点をおいて取り組んでいくものを選定した内容であり、今回の会議におきましては重点事業を進めるに際してご意見をいただくことを目的として作成しましたが、ご意見をいただきたいポイントを明確にお示しできておりませんでした。 今後は、ご意見をいただきたいポイントをあらかじめお示しするよう改善します。なお、区からお示しするポイントに限らずより広い見地からのご意見がありましたら合わせてお聞かせいただきたいと思います。 ・なお、令和4年度予算編成の考え方は次のとおりです。 令和3年度事業は、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部事業の延期・縮小・中止等があったものの、概ね順調に進捗していたことから、令和4年度予算については、基本的に令和3年度事業を継続して実施することとしています。一方、単年度措置で実施した事業や事務的経費の見直し等により捻出した経費を活用し、「令和4年度 住吉区予算と主な取り組み」（第4回区政会議資料）に記載の事業の拡充等を行ったところです。（詳細は別紙のとおり）
②	鍛治本委員	学校園教育活動支援事業について	・漢検の補助はすごくいいことだと思うが、英検でも検定料が高く、受けられない方が多いため、こどもたちがチャレンジできるような方向性を考えてほしい。	〔教育文化課〕 ・小学校段階での基礎学力の基盤となる言葉の力の向上に直結する事業として、自宅学習の習慣づくりをしていけるよう区役所の限られた予算の中で、漢検への補助を行うこととしています。 ・学校で選択できる、学力向上をめざした取組メニューが教育委員会事務局において用意されています。区内の学校の先生方には、英検チャレンジへの選択も検討されるようご要望があったことをお伝えしていきます。なお、現時点では住吉区の中学校1校で学校に配付される予算を活用して英検が実施されています。

	委員名	項目	意見等の内容	回答・対応（※）
③	鍛冶本委員 島谷委員	こどもの遊び場について	〔鍛冶本委員〕 ・ボール遊びができる場所や、中高学年の子たちも自由に遊べる場が、地域にもう少しあってもよいのではないか。 〔島谷委員〕 ・大きい子どもたちの遊び場について、コロナ禍で自粛という時期は仕方がないとしても、放課後のちょっとした時間に遊べるような場所の確保があれば、もう少しストレス発散できるのかなと感じる。	〔地域課〕 ・公園については、建設局長居公園事務所の所管であり、確認したところ、ボール遊びを禁止しているわけではなく、小さなお子様や近隣住民の迷惑になるような危険な行為は避けていただきたいとのことです。利用者や近隣住民等、誰もが気持ちよく活用できるよう地域の皆様でご協議いただき、ご要望等がございましたら建設局長居公園事務所へご相談ください。
④	鍛冶本委員	学びサポーターについて	・学校園の補助スタッフと大阪市の学びサポーターとは兼務できないと聞いたが、もう少し対応を柔軟に考えてほしい。	〔教育文化課〕 ・教育委員会の学びサポーターと区の学校園補助スタッフの業務は、それぞれ異なるものとして考えており、雇用契約上のトラブル回避をするための対応として兼務できないルールを設定しています。 ・学校園側の事情については、改めて確認していきます。
⑤	鍛冶本委員	災害に備えた自助・共助・公助の対策事業について	・防災で配備するタブレットを使う場所にネット環境またはWi-Fiなどが必要ではないか。	〔地域課〕 ・大規模災害時における公衆無線LANを無料で提供する「00000JAPAN（ファイブゼロジャパン）」やフリーWi-Fi（災害モード）が使用できます。また、学校にもWi-Fiがありますので、危機管理室を通じて、教育委員会に災害時に活用させていただけるよう協議しています。
⑥	島谷委員	子ども・若者育成支援事業について	・高校以降は地元から離れてしまうと、地域で見守っている側にもなかなか情報が入らない。それまで見守っていた地域の間にもフィードバックしてもらえれば、もっと支援や見守りが続けていけると感じる。中学校を卒業した子どもたちの継続的な見守り支援については、早急に進めてほしい。	〔保健福祉課〕 ・例えば、現在実施している子どもサポートネットでは、中学校を卒業すると、それまでの支援が切れてしまうことから、当該生徒と保護者の同意を取ったうえで、本事業の相談にもつなげることにより、継続的な支援を行っていきます。

	委員名	項目	意見等の内容	回答・対応（※）
⑦	島谷委員	小地域福祉計画策定に向けたアドバイザーの派遣事業について	・地域座談会はいつも同じメンバーだと感じる。別の人材開拓はどこの地域も考えており困っていることだが、来ているメンバーが同じとなるなら何かもったいないように感じる。	〔保健福祉課〕 ・地域座談会は、『つながり』～いろいろな人が地域の福祉について話し合う機会をつくる～、『ささえあい』～地域の福祉の今をみんなで共有していく～、『理想の実現へ』～地域の将来を見据えて、理想に近づく方法を考えていく～ことを目的としています。 ・地域座談会につきましては、コロナ禍でこの2年間全くできていませんが、地域における話し合いの中心は地域活動協議会になりますので、今後その皆様と相談させていただきながら、地域住民、商店、NPO、施設、学校等、地域住民と地域の多様な主体に集まっていただき、地域の課題解決策・地域福祉推進策について話し合っていたいただきたいと思います。
⑧	島谷委員	学校園教育活動支援事業について	・授業がしんどい子どもたちのサポーターについては、いろいろな先生からももっとたくさん助けてもらえたらうれしいという話をよく聞くので、そういう人材に充てられる予算が増えればうれしい。	〔教育文化課〕 ・学校に対しては教育委員会が学びサポーターや特別支援教育サポーター等の派遣を行い、子どもの学びを保障するとともに、教員の支援を行っています。 ・区役所は、学校における教育活動補助スタッフ（ボランティア）が、継続して学校園をサポートできるように支援を行っており、評価もいただいているところです。今後も引き続き予算を確保し、事業継続に努めていきます。
⑨	島谷委員 東委員	「大阪スマートシニアライフ事業」のモデル実施について	〔島谷委員〕 ・スマートシニアライフ事業のモデル実施は、すごく良いと思う。スマホを持っていない方や独居の方が、コロナワクチンの予約で困っているため、お手伝いしてもらえそうなことがあれば、すごく便利になるだろうと感じた。 〔東委員〕 ・スマホを持っていない高齢者、使いこなせない高齢者が見受けられるため、役所や連合会館にコロナワクチンを予約できるようなタブレット等を置いて、公的なアドレスを使って、代わりに予約が取れるようなシステムの構築を、早めにしていただければありがたい。	〔保健福祉課〕 ・大阪府では、府内の高齢者およびその家族を対象として、「高齢者にやさしいまちづくり」を念頭に、ICT技術を中心とした高齢者向け支援サービスを提供する「大阪スマートシニアライフ事業」を進めており、住吉区も令和4年度にモデル事業に参加します。 ・本事業は高齢者に6か月間、専用タブレットを無料で貸し出し、そのタブレットを使って、行政・民間オンラインサービスを受けていただくものです。 ・なお、具体的なサービス内容につきましては、今後大阪府が調整されることとなっています。 〔総務課〕 ・新型コロナウイルスワクチン接種の予約につきましては、現在、自身で予約が困難な方を対象に、区役所32番窓口において支援を行っています。予約にお困りの方がおられましたら、区役所をご案内いただきますようお願いいたします。

	委員名	項目	意見等の内容	回答・対応（※）
⑩	島谷委員	来庁前予約システムの導入に向けた検討について	・来庁前予約システムの導入は、すごく便利と思うが、逆に区役所の業務がすごく増えないか、また増えたことによって業務が滞らないかが心配である。	〔総務課〕 ・来庁前予約システムにつきましては、現在、対象とする手続きや導入にあたっての課題、使用するシステムの検討を進めているところです。予約システムの導入に伴い、職員の業務が著しく増加することがないかという点についても、十分に検討し、市民サービスの向上を図っていきます。
⑪	佃井委員	社会的弱者への対応について	・ケアマネや病院で対応してくれることが限られているため、弱者やしんどい思いをしている方のことをしっかりともっと何かできる体制にしてほしい。	〔保健福祉課〕 ・近年経済的な問題だけでなく、社会的な孤立や医療問題など複合的な課題を抱える場合や、本人のみならずその家族にも課題があり、それらが絡み合っている場合があります。 ・住吉区では、複合的な課題を抱えた要援護者などに対応するために、地域と専門職、専門職間のネットワークづくりを進め、相談支援機関・地域・行政が一体となった、総合的な相談支援体制を構築しており、引き続きその充実を図っていきます。
⑫	東委員	子ども・若者育成支援事業について	・不登校、ひきこもりの方々の行く末が、今、8050問題、9060問題という形で浮き彫りになるため、このところを押しえることによって、先にこの問題が継続せずに解決していくことに期待を込めて、特に重点的にお願いしたい。 ・18歳で成人する法改正もあることから、18歳問題として、成人になった後、いきなり社会に飛び出ていく18歳に対しても、もう少し手厚く支援してほしい。	〔保健福祉課〕 ・本事業では、年間約300件の相談対応を行っていますが、なかなかその先につながらず、相談対応で長期間とどまっているケースが多いことから、社会福祉施設の皆様と相談しながら、緩やかな就労先の開拓といった出口戦略にも来年度は力を入れていきたいと考えています。
⑬	東委員 和田委員	高齢者向けスマホ教室の実施について	〔東委員〕 ・高齢者向けのスマホ教室の実施について、具体的にどういう計画で、何地域ぐらいで実施する予定か分かれば教えてほしい。 〔和田委員〕 ・毎月1回、地域でふれあい喫茶と一緒にスマホ教室も開催しているが、今現在、会館にはWi-Fiがないため、Wi-Fiやルーターなどがあれば、多くの方や高齢者の方にも来ていただき、スマホ教室も一緒にやっていけるかなと思う。	〔保健福祉課〕 ・高齢者向けのスマホ教室については、現在2地域で実施しています。開催にあたっては、住吉区社会福祉協議会や大阪市立大学の学生にもご協力をいただいております。 〔地域課〕 ・既に会館にWi-Fiを設置いただいている地域もありますので、地域活動協議会への補助金を活用し設置していただきたいと考えています。また、会館によっては繋がりにくい個所もあるので、ルーターの購入も含めてご検討いただきたいと思います。

	委員名	項目	意見等の内容	回答・対応（※）
⑭	宮崎委員	生活の質（QOL）の向上に向けたICT活用の促進について	<p>・来庁前予約システム導入に向けた検討について、令和5年度から運用をめざすとしているが、令和4年度にシステムの導入等をししないと、令和5年度からは運用できないと思うが、予算案の金額とか捻出はどのようになっているのか。</p> <p>・来庁者等対応チャットボットの開発も令和4年度の運用をめざし、職員による利用と評価を進めているということだが、この予算はどこから捻出しているのか。</p>	<p>〔総務課〕</p> <p>・来庁前予約システムにつきましては、令和4年度に<u>かけて対象とする手続きや使用するシステムを検討し、令和5年度予算に計上する予定です。そのため、令和5年度当初からではなく、令和5年度の早い時期からの運用開始になると考えています。</u>また、所要経費につきましては、現在検討中のため不明です。しかしながら、区民の皆様の利便の向上に資する取組であることから、全体の予算を組み直し、必要な経費を捻出してまいりたいと考えています。</p> <p>・来庁者等対応チャットボットにつきましては、<u>現有システムを活用し、職員が業務の一貫として進めておりますことから、委託料等の物件費はかかっておりません。</u></p>
⑮	和田委員	災害に備えた自助・共助・公助の対策事業について	<p>・災害に備えた自助・共助の対策事業について、大事なことだと思う。いつ起こるか分からない災害に対して、見守り支援システムは維持していかないといけないと思う。学習会ではなく、常に実践として地域でもやっていかないといけないと思う。</p>	<p>〔地域課〕</p> <p>・総合防災訓練や町会単位での訓練など、地域役員と相談しながら、より実践に近い形で実施していきます。</p> <p>・見守り支援システムについても、<u>個別支援プランの作成を促進し、個別支援プランを活用した訓練なども検討していきます。</u></p>
⑯	渡邊委員	予算全体について	<p>・令和4年度予算は「新型コロナウイルス感染症との共存を前提に」事業をすることになっているが、令和3年度では総合防災訓練で感染症を意識しながら避難所設営等を行ってきた。これを全部に「感染症との共存を前提」としていくと相当いろいろなところに、今までと違ったところへ費用がかかる気がする。</p>	<p>〔総務課〕</p> <p>・令和4年度につきましては、コロナ禍においても感染状況に応じた感染防止策を講じながら事業を継続していく方針としたことから、「<u>新型コロナウイルス感染症との共存を前提に</u>」と記載したところですよ。</p> <p>・集合型の事業につきましては、<u>消毒液の準備など、これまでとは異なる経費がかかるものもありますが、他の消耗品を精査すること等により、経費を捻出し、円滑な事業実施に務めていきます。</u></p>

※下線部は会議当日に回答できていない内容となります。